

あさひ議会だより

21号

平成23年
6月1日
発行



東日本大震災被害のお見舞い

平成23年3月11日14時46分、東北地方太平洋沖でM9.0という東日本大震災が発生しました。この地震により、日本の歴史上最悪の被害をもたらした。被災者数、被災範囲等が未曾有の激甚災害となり、ここ旭市も震度5強の地震及び数回にわたる大津波により多大な被害がありました。ここに被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族に対し、衷心より哀悼の意を表します。

今回の大地震は、想像を絶する規模の複合災害であり、地殻変動、巨大津波、火災、さらには原子力発電所の一連の事故などにより壊滅的な被害を受けた被災地が多数発生しました。

現在、早期復興に向け、あらゆる手段を講じて支援を行うことが求められています。

私ども旭市議会は、今回の大震災に対して、支援活動を積極的に行うとともに国・県・市が丸となり、復興に向けた取り組みを早急に推進していくよう努めてまいります。

旭市議会

おもな内容

東日本大震災被害のお見舞い	1
議案の内容と審査結果	2～6
第1回定例会の日程	3
主な議案質疑	6
第1回臨時会	7
一般質問	8～13
常任委員会の審査	14・15
議会のうごき	16

平成23年度 予算総額852億7,833万7,000円 (前年対比11・1%減)

一般会計予算は268億5,000万円

第1回定例会のあらまし

平成23年第1回定例会が、2月28日から3月17日までの18日間の会期で開かれました。この定例会には、平成23年度各会計予算、平成22年度の各会計補正予算、条例の一部改正、人事案件など36議案が市長より提出されましたが、14日に市長より議案撤回請求書の提出があり、本会議にて議案第21号の撤回が承認され、議案第10号を除く議案が原案のとおり可決・同意されました。

3月7・8日には一般質問が行われ、9人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

最終日の17日には、委員会から1件の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。

議案の内容と審査結果

当初予算

(平成23年度)

■議案第1号

平成23年度旭市一般会計予算の議決について (可決)

予算規模は、歳入歳出それぞれ268億5,000万円です。歳入の主なものは、市税67億

1,859万7,000円、地方交付税85億円、国庫支出金30億1,123万円9,000円、県支出金13億9,561万6,000円、市債36億2,860万円です。歳出の主なものは、総務費31億9,650万3,000円、民生費78億952万円、農林水産

■議案第2号

平成23年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について (可決)

予算規模は、事業勘定が歳入

歳出それぞれ92億5,000万円、施設勘定が歳入歳出それぞれ7,900万円です。

事業勘定について、歳入の主なものは、国民健康保険税29億45万2,000円、国庫支出金25億6,023万4,000円、共同事業交付金11億5,451万7,000円、繰入金9億1,346万6,000円です。歳出の主なものは、保険給付費59億4,198万3,000円、後期高齢者支援金12億7,672万9,000円、共同事業拠出金11億1,080万8,000円となっています。

施設勘定について、歳入の主なものは、診療収入6,752万7,000円、繰入金710万1,000円、繰越金370万円です。歳出の主なものは、総務費3,960万3,000円、

■議案第3号

平成23年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について (可決)

予算規模は、歳入歳出それぞれ4億2,500万円です。

歳入の主なものは、保険料2億9,740万円、繰入金1億2,070万5,000円です。歳出の主なものは、総務費1,168万2,000円、広域連



医業費3,633万8,000円となっています。

第1回定例会の日程

- 2月28日(月) (開会)
- 会議録署名議員の指名
 - 会期の決定
 - 議案の上げ
 - 施政方針並びに提案理由の説明
 - 議案の補足説明
- 3月3日(木)
- 議案の質疑
 - ◇ 追加日程 <採決>
 - 常任委員会へ議案を付託
- 3月7日(月)
- 市政に関する一般質問
- 3月8日(火)
- 市政に関する一般質問
- 3月10日(木)
- 建設経済常任委員会
- 3月11日(金)
- 文教福祉常任委員会
- 3月14日(月)
- 議案第21号撤回の件
 - 総務常任委員会
 - 文教福祉常任委員会
- 3月17日(木)
- 常任委員長の議案報告
 - <質疑・討論・採決>
 - ◇ 追加日程
 - 発議案の上げ
 - 提案理由の説明
 - <質疑・討論・採決>
 - 事務報告
- (閉会)

合納付金4億739万1,000円となっています。

議案第4号

平成23年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について

予算規模は、歳入歳出それぞれ39億2,200万円です。

歳入の主なものは、保険料6億1,583万4,000円、国庫支出金9億3,417万6,000円、支払基金交付金11億4,293万5,000円、県支出金5億7,395万5,000円、繰入金6億5,112万円です。

歳出の主なものは、保険給付費37億9,384万7,000円、地域支援事業費6,465万6,000円となっています。

議案第5号

平成23年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について

予算規模は、歳入歳出それぞれ5,200万円です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料6,306万4,000円、国庫支出金1億9,795万円、繰入金4億1,756万円、市債2億5,610万円です。

歳出の主なものは、職員人件費等が1億147万円、施設維持管理費及び管渠工事費等5億8,864万9,000円、公債費2億6,934万円となっています。

議案第6号

平成23年度旭市水道事業会計予算の議決について

業務の予定量で、年度末の給水件数を1万9,024件、年間給水量を607万7,099立方メートル、収益的収入及び支出において、収入に16億31万1,000円、支出に14億7,531万4,000円を計上し、

平成23年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について(可決)

予算規模は、歳入歳出それぞれ9億7,300万円です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料6,306万4,000円、国庫支出金1億9,795万円、繰入金4億1,756万円、市債2億5,610万円です。

歳出の主なものは、職員人件費等が1億147万円、施設維持管理費及び管渠工事費等5億8,864万9,000円、公債費2億6,934万円となっています。

議案第7号

平成23年度旭市水道事業会計予算の議決について(可決)

業務の予定量で、年度末の給水件数を1万9,024件、年間給水量を607万7,099立方メートル、収益的収入及び支出において、収入に16億31万1,000円、支出に14億7,531万4,000円を計上し、

議案第8号

平成23年度旭市病院事業会計予算の議決について(可決)

病院本体の入院患者数を28万1,510人、外来患者数を79万2,080人と見込み、収益的収入及び支出において、収入に350億8,611万4,000円、支出に349億6,473万7,000円を計上し、当年度利益1億2,137万7,000円を予定しました。

また、資本的収入及び支出については、収入に40億9,002万8,000円、支出に64億3,356万2,000円を計上しています。支出のうち、主なものは再整備事業改修工事です。収支不足額23億4,353万4,000円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。

議案第9号

平成23年度旭市国民宿舎事業会計予算の議決について(可決)

宿泊利用者を1万5,000人、休憩利用者を6,000人と見込み、収益的収入及び支出において、収入に2億1,891万7,000円、支出に2億4,221万円を計上し、当年度純損失として2,329万3,000円を見込みました。

また、資本的収入及び支出については、収入に1,266万2,000円、支出に1,786万2,000円を計上しています。収支不足額520万円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんするものです。

補正予算

平成22年度旭市一般会計補正予算の議決について(否決)

歳入歳出にそれぞれ9億2,600万円を追加し、予算の総額を293億3,500万円とするものです。

歳入の主なものは、地方交付税7億9,370万5,000円、国庫支出金2億4,102万3,

議案第10号

平成22年度旭市一般会計補正予算の議決について(否決)

歳入歳出にそれぞれ9億2,600万円を追加し、予算の総額を293億3,500万円とするものです。

歳入の主なものは、地方交付税7億9,370万5,000円、国庫支出金2億4,102万3,

000円を増額し、基金繰入金1億3,000万円を減額するものです。

歳出の主なものは、総務費5億669万8,000円、民生費1億1,583万5,000円、土木費1億2,700万円、諸支出金1億3,507万6,000円を増額し、公債費3,848万5,000円を減額するものです。

■議案第11号

平成22年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について

(可決)

事業勘定において歳入歳出にそれぞれ1億2,500万円を追加し、予算の総額を87億3,200万円とするものです。

■議案第12号

平成22年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について

(可決)

歳入歳出にそれぞれ9,100万円を追加し、予算の総額を38億1,100万円とするものです。

■議案第13号

平成22年度旭市下水道事業特別



旭中央汚水ポンプ場

会計補正予算の議決について

(可決)

旭市浄化センター及び旭中央汚水ポンプ場の建設事業が年度内に完成が見込めないことから、繰越明許費として1億5,864万円を設定するものです。

■議案第14号

平成22年度旭市水道事業会計補正予算の議決について

(可決)

収益的収入及び支出において、水道事業収益に2,150万5,000円、水道事業費用に285万3,000円をそれぞれ増額するとともに、資本的収入及び支出において、資本的収入から4,093万円、資本的支出から5,995万1,000円を

それぞれ減額するものです。

■議案第15号

平成22年度旭市病院事業会計補正予算の議決について

(可決)

収益的収入及び支出において、病院事業収益に9,934万1,000円を増額するものです。主なものは、収入で特別交付税等増額交付9,898万9,000円を増額補正するものです。

■議案第16号

平成22年度旭市国民宿舎事業会計補正予算の議決について

(可決)

収益的収入及び支出において、国民宿舎事業収益から4,483万9,000円、国民宿舎事業費用から790万9,000円



食彩の宿いいおか荘

人事

■議案第35号・議案第36号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

(同意)

現委員のうち2名が6月30日をもって任期満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものです。

次の方々が全員賛成で同意されました。

再任 岩瀬 紘一氏(後 草)
再任 齋木 龍恵氏(蛇 園)

条例の一部改正

■議案第17号

旭市行政組織条例の一部を改正

する条例の制定について(可決)
行政組織の再編に伴い、平成23年4月1日に企画課を企画政策課とし、市民課を市民生活課とするにあたり、所要の改正を行うものです。

■議案第18号

旭市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について(可決)
病院事業企業職員の定数を、現在の1,800人から80人増やし、1,880人に引き上げるものです。

■議案第19号

旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

消費生活相談員の報酬額を職務の専門性や困難さを勘案し、所要の改正を行うものです。

■議案第20号

旭市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

千葉県人事委員会勧告に基づく、職員の持ち家に係る住居手当の廃止及び月60時間を超える時間外勤務時間に関する積算基

準の一部改正並びに勤勉手当の支給基準の一部について、所要の改正を行うものです。

■議案第21号

旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

(撤回)

東北地方太平洋沖地震の発生により、今回の提案は適当でないとし市長が判断し、議案撤回請求書が提出され、本会議において承認されたものです。

■議案第22号

あさひ健康福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

■議案第23号

飯岡福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)
指定管理者の使用料の收受について、所要の改正を行うものです。

■議案第24号

旭市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について(可決)
埴保育所を廃止するにあたり、

所要の改正を行うものです。

■議案第25号

旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

飯岡地区の八軒町児童遊園を廃止するにあたり、所要の改正を行うものです。

■議案第26号

旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

平成21年10月から平成23年3月までの間、暫定的に引き上げた出産一時金の支給額について、平成23年4月から恒久化することに伴い、所要の改正を行うものです。

■議案第27号

旭市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

法定外予防接種である子宮頸がん等ワクチン接種の実施に伴い、所要の改正を行うものです。

■議案第28号

旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止

に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

土砂等の搬入による土地の埋立て等について、より一層の適正化を図るため、許可申請に係る面積要件の見直し、土地所有者の責務の追加など、所要の改正を行うものです。

■議案第29号

旭市消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

旭市消防署海上分署の移転に伴い、所要の改正を行うものです。

■議案第30号

旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

千葉県人事委員会勧告に基づく、職員の持ち家に係る住居手当の廃止について、所要の改正を行うものです。

■議案第31号

旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

新本館の開院に伴い、特別療養環境室の差額室料その他の使



旭中央病院 新本館病室

用料を見直すため、所要の改正を行うものです。

そのほかの議案

■議案第32号

千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約の制定に関する協議について (可決)

地方自治法第252条の2第3項の規定に基づき、あらかじめ関係地方公共団体の議会の議決を求めるものです。

■議案第33号

千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合

規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について (可決)

館山市及び南房総市学校給食組合が千葉県市町村総合事務組合から脱退することに伴い、同組合規約を改正するため、議会の議決を求めるものです。

■議案第34号

訴訟上の和解及び損害賠償の額を定めることについて (可決)

平成20年12月8日に提起された市を被告とする損害賠償請求訴訟に関し、直近口頭弁論期日において裁判所より2度目の和解勧告を受けたため、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により議会の議決を求めるものです。

委員会提出議案

■発議第1号

旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

旭市行政組織条例の一部改正により、企画課及び市民課の課名が変更したことに伴い、所要の改正を行うものです。

主な議案質疑

■議案第1号

Q 緊急雇用創出防犯灯管理台帳作成事業で、1,000万円もかけて管理台帳を作る必要はあるのか。

A 防犯灯の管理は、旧1市3町それぞれやっていたため、一括した管理台帳が整備されておらず、住民から新規設置、修繕等の要望があった場合に迅速に対応することができませんでした。22年度末で防犯灯が4,770灯となり、それを電子データ化してコンピュータで一括管理することにより、迅速な対応を図っていくものです。なお、緊急雇用創出事業の対象となり、財源も確保できたことから、整備する予定です。

■議案第2号

Q 診療費がどのように上昇してきたのか。また、繰り入れについて、22年度の補正後の金額と本年度の予算についてお尋ねします。

A 給付費について、21年度決算額で50億7,414万円です。22年度は52億5,0

42万円を当初予算で組みましたが、1人当たりの医療費が非常に伸びています。20年度の1人当たりの医療費は、19万6,818円ほどになります。21年度は20万9,576円という非常に大きな伸びを示しました。22年度は決算見込みで、55億6,100万円くらいまで伸びるのではないかと見えています。また、1人当たりの医療費は22万8,000円程度になると見込んでいます。

■議案第9号

Q 企業債償還金返済分として、出資金1,266万2,000円が組まれているが、償還に充てる出資金というのは考えにくい、どのような考えで予算計上したのか。

A 地方公営企業法上は、建設改良工事の財源として借り入れた企業債の償還に充てるため、出資金でも補助金でも

問題がないとされています。なお、補助金では特定収入とみなされ、消費税の納付額が約50万円の増額になり、税制上有利な出資金としたものです。

■議案第10号

Q 庁舎整備基金積立金5億円の根拠と、今までの年度ごとの積立金と、またこの5億円を積み立てた時点での積立金の合計はどうなるのか。

A 特別に5億円にした根拠はなく、財政状況を見ながら今回5億円を計上したものです。年度末に毎回補正を行い、平成20年度で3億円、21年度で3億円、今回、22年度に5億円を予定しました。今回を合わせるに11億円となり、これに利息がつかます。

■議案第11号

Q 電算業務委託料は、入力のための委託なのかお尋ねします。

A 地方税法改正に伴う、国民健康保険システム改修の委託料です。

なお、国の特別調整交付金の対象となるので、ここに計上しました。

■議案第16号

Q 第3条、第4条の借入金について詳しく説明いただきたい。

A 第3条の借入金は、収益的収支において、当初予算で黒字を見込んでいましたが、長引く景気の低迷等により、予定していた営業収益の確保が難しいため、一般会計より営業運転資金に充てるための長期借入金です。

また、第4条の借入金は、当初予算において黒字で予算編成した第3条予算で発生する補てん財源をもって、平成20年度に借り入れた一般会計からの長期借入金の償還を予定していましたが、補てん財源を生み出すことが難しくなったため、償還財源として借り入れるものです。なお、企業会計ルール上、償還については、4条予算に計上すべきものとされています。

■議案第31号

Q 使用料及び手数料について、売店の手数料が4,200円から8,000円に上がります。今までの売店の面積と使用料、これからの面積と使用料をお示し願いたい。

A 現在の売店の面積は、第1売店が133.45平米、第2売店100.29平米と2つで233.74平米。家賃は合計で1ヵ月当たり103万1,100円です。新本館における売店は売り場面積が153平米、家賃は1ヵ月当たり122万4,000円になります。

■議案第34号

Q 許可の際、詳細な調査もしないで発生したミス、いわゆる瑕疵ある許可と思えます。市が市民の税金で支払うわけで、和解除における求償権について、どう考えているのか。

A 求償権は国家賠償法の中にうたわれ、国家賠償法第1条第2項によると「公務員に故意又は重大な過失があったときは、国又は地方公共団体はその公務員に対して求償権を有する」と規定されています。今回の議案上程に際し、求償権の扱いについて顧問弁護士を交え、十分協議をしました。本案件については、国家賠償法の「故意又は重大な過失」には当たらないという見解で、市が求償権を有するものではないという結論に至っています。

第1回臨時会

平成23年第1回臨時会が3月23日に開催されました。

この臨時会には、平成22年度旭市一般会計補正予算などの4議案が市長より提出され、可決されました。



東日本大震災による市内における被害のようす

補正予算

(平成22年度)

■議案第1号

平成22年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

3月11日に発生した東日本大震災の災害復旧に伴う予算を計上するとともに、第一回定例会に提案した内容を一部修正し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ35億1,800万円を追加し、予算の総額を319億2,700万円とするものです。

また、災害救助費の中に、建物被害者への見舞金を市単独で支給するための費用を計上するものです。

条例の一部改正

■議案第2号

旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

■議案第3号

旭市行政組織条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

■議案第4号

旭市消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

主な議案質疑

■議案第1号

Q 応急的修理について、住宅に住めなくなった方に、どのように対応していくのか。また、どのような工事が対象になり、どのくらいの支援が見込めるのか。そして手続きは、どういったことをすればいいのか。

A 災害救助法による応急的な修理は、生活に最低限必要な部分、台所、トイレ、風呂、寝室が基本となります。避難所等に避難をしている世帯が生活できる状況になることを目的に修理をした場合に、52万円を限度として、市が発注して業者へ支払うものです。

また、応急仮設住宅への入居者は対象外となります。

さらに、この事業は所得制限があり、所得が高い方については対象外となります。市では、ローラー作戦により被害の状況

(可決)
4月1日に予定していた組織の改編時期を延期するため、所要の改正を行うものです。

を把握して、半壊状態で修理を希望する方に改めて申請していただくよう、対応を早急にとりたいと考えています。

■議案第3号

Q 災害復興に対する取り組みを、今の体制で全力で取り組むとの説明だが、課に人が必要なきには、応援に行ける態勢を作っていたらと思うが。

A 特定の課に集中する部分もありますが、これは専門的な部分で、避難所等については全庁的に取り組んでいます。今回の住宅の調査も、全庁的に各課から応援して、必要に応じて振り分けを行っています。

また、ご指摘のような、人が足りないということがあれば、各課から応援して、そこへ回すという形で弾力的にやっています。

一般質問

市政に関する一般質問は3月7日・8日に行われ、9人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

入札

予定価格の推計は可能か

Q 旭市の公共工事の予定価格を業者が推計するのは可能か。

A 積算ソフトが市販されており、業者が、市が示した設計図書から数量を拾い出せば、比較的簡単に積算が可能かと思えます。また、応札価格もその積算の中で求めていくことはできるかと思えます。

総括と反省点は

Q 19年度から22年度までの入札の資格審査についての総括と反省点についてお聞きます。

A 入札の資格審査の段階に於いて、営業所の専任技術者等々の重複について確認できなかつたということがありました。この点については、市のシステムを直していかなければなりませんし、私どもも深く反省しなければいけないと思っています。

契約の段階で確認を厳しくしていくことはもちろんですが、工事担当課と横の連携も重要です。今後は、旭市建設工事適正化指導要綱も定めていきたいと思っています。入札・契約事務に当たっては、法令の遵守はもちろんのこと、建設工事の適正な施工の確保に向けてしっかりと事務を進めていきたいと考えています。

入札審査委員会の構成は

Q 入札審査委員会を構成するメンバーと役割について。

A 指名審査会と重複するメンバーになり、副市長、総務課長、財政課長、農水産課長、建設課長、都市整備課長、教育委員会庶務課長という構成です。

役割は、一般競争入札の対象工事の選定に関すること、一般競争入札における入札参加資格要件の審査及び入札参加者の資格の有無の確認、特定建設工事共同企業体に発注しようとするときの適否等です。総合評価方式で行う対象工事の決定、落札

者決定基準並びに技術資格の審査、低入札価格調査結果の審査で、現在5項目が掲げられています。

資格審査委員会が機能していなかったのでは

Q 市内建設業者が指名停止の処分を受けた件では、資格審査委員会が機能していなかったのではないかと思うが、早い時点で指摘をし、指導すれば、行政処分を出す必要はないと思います。詳しい説明をお願いします。

A 例えば今まで一般競争入札では、市内評定点750点、市外800点とすぐ決まります。次に地域要件を定め、どれだけ業者数があるのか。少なくとも一般競争入札であれば、15社程度は欲しいとリストアップします。そして、その区域がおおむね決定し、過去の実績等を個々に定めていきます。

指名競争入札であれば、技術者がいるかどうかが問題になり、入札の段階で確認し、実施していました。

今回は一般競争入札であり、

一般質問の質問事項

飯嶋正利 議員

- 1 国保税について
- 2 給水原価について
- 3 都市計画税について
- 4 23年度産飼料米について

大塚祐司 議員

- 1 道の駅について
- 2 入札について
- 3 医療観光について
- 4 総合病院国保旭中央病院改革プランについて

滑川公英 議員

- 1 国民健康保険税の大幅値上げ案について
- 2 19年度から22年度までの入札の資格審査に関する財政課長の答弁についての総括と反省点について
- 3 3月に見直す答弁された食彩の宿いおか荘について
- 4 産業活性化に向けて

高橋利彦 議員

- 1 東総地区広域市町村圏事務組合について

専任で監理技術者を付ける形で
公告し、業者が応募して、書面
の要件の中でチェックします。

一覧表のチェックの中で、監
理技術者証の写しや申請書、件
数などが合致したものを資格審
査委員会に上げる形になってい
ます。

そのため、確かに営業所の専
任技術者をチェックするシステ
ムがなかったというのは事実で
す。現在、改善策を考えて進め
ているところです。

国民健康保険

国保税の収納率は

Q 国保税の収納率について
お聞きします。

A 収納率は、平成21年度決
算で現年度分が87・22%、
滞納繰越分が14・17%です。

22年度は、1月末現在で現年
度分が75%、前年同期を0・67
ポイントほど上回っています。
滞納繰越分が11・44%で前年同
期を1・08ポイント下回ってい
ますが、現年度分は22年度決算
で昨年の収納率を上回る見込み
です。

公共工事

公共工事の転換を

Q 新しい建物の新築、大き
な道路等の新設から、維
持補修に重点を移す政策に転換
することが大切です。維持補修
工事は、工事の規模が小さく、
地元の中小建設業者への発注機
会の増加が見込まれ、地域に密
着した仕事おこしになり、中小
零細業者の支援になります。

公共工事をこうした方向に転
換するようにしてもらいたいが
どうか。



旭中央病院アクセス道 南北線

A 現在継続中の公共工事に
ついて計画的に推進し、
新たなものについては、十分精
査、検討していきたいと思っ
ています。また、住民生活に密着
した比較的小規模な工事につい
ても、十分配慮していきたいと
思っています。

ある程度のインフラの整備は
終わったと考えており、これか
らは大きな事業は控え目にしな
がら、生活密着型の事業に取り
組んでいきたいと思っています。

まちづくり

都市計画区域見直し の進捗状況は

Q 都市計画区域の進捗状況
について、どのような進
展があったのか。

A 都市計画は、市民生活に
かかわる重要な案件です
ので、今後は住民説明会を開催
する中で、多くの市民の皆様の
ご意見をいただきながら、地域
住民の皆様との合意形成を図っ
ていきたいと考えています。
昨年6月に、できれば年度内
には説明会を開催したいと申し

上げました。しかし、地域内の
現状調査を職員により行ってい
ますが、若干、照合等に時間を
要しており、遅れが生じている
状況です。

解説 都市計画

都市計画とは、一言でいえば
「いいまちづくり」のための計
画です。都市計画法では、「都
市の健全な発展と秩序ある整備
を図るための土地利用、都市施
設の整備及び市街地開発事業に
関する計画」と定義されていま
す。

市税等

都市計画税の 使い方は

Q 都市計画税の使い方につ
いて、考えを聞かせてい
ただきたい。

A 都市計画税は、地方税法
702条において都市計
画法に基づいて行う都市計画事
業に要する費用に充てるとされ
ています。

例を挙げると、都市計画道路
や都市計画公園、公共下水道が
主なものです。このほかにも、

- 2 広域ごみ焼却場建設につい
て
- 3 国民健康保険について
- 4 行財政改革について

伊藤房代 議員

- 1 オンデマンド交通の導入に
ついて
- 2 雇用のための資格支援につ
いて
- 3 子ども医療費の無料化につ
いて
- 4 デジタル対策について
- 5 グリーン電力(グリーン熱)
証書発行、活用について

木内欽市 議員

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 安心で安全なまちづくりに
ついて
- 3 農業問題について
- 4 教育問題について
- 5 旭中央病院について

伊藤保 議員

- 1 救急医療情報キットについ
て
- 2 旭公民館、市民図書館につ
いて
- 3 ゲリラ豪雨対策について
- 4 市内業者育成について

ごみ焼却場や火葬場、汚物処理場などがあります。

現在、旭市の都市計画税の課税区域は、旭地区のみですが、今後、都市計画区域の見直しに当たり、当然ながら、都市計画税の取り扱いについては大変重要な課題であり、慎重に対応していかなければならないと考えています。



整備中の文化の杜公園



都市計画道路 八丁場遊正線

道路

側溝の排水能力の見直しは

Q 道路側溝の排水能力は1時間に55ミリの降雨を想定した設計ですが、銚子気象台の資料では1986年から、この想定を超える雨が頻繁にあります。道路側溝の設計の見直しが必要ではないか。

A 大きな幹線的な排水路などに関しては、流域面積や土地利用状況、降雨量などを計算して断面の大きさを決めています。市内にある側溝は、そこまで精査していません。

市営住宅

市営住宅の改修計画は

Q 市営住宅の一部では改修が行われているが、全体ではどうなっているのか、計画があればお答えいただきたい。また、不足している市営住宅の建築等の検討はしているのか。

A 昭和36年から昭和40年の前半に建設された木造、簡易耐火構造物、一部中層耐火による市営住宅が11団地、376戸あります。これらの維持管理については、平成18年度と21年度に地域住宅計画を策定し、それに基づき補修を行っています。また、公営住宅の長寿命化計画も併せて策定して、修繕を実施しています。

そのほか、県営住宅が189戸あり、また、昨年の4月に雇用・能力開発機構から譲渡を受けた雇用促進住宅が79戸あります。合計640戸を超える戸数があり、他の人口7万人の市と比較しても、戸数的には非常に多い状況です。



市営住宅双葉団地

さらに、住宅統計調査では、民間の空き家率も若干高くなってきた状況もあり、今のところ新たな建てかえ計画はありません。

公共交通

オンデマンド交通の導入は

Q オンデマンド交通のシステムを旭市に導入できるか。

A オンデマンド交通については、新しい公共交通であり、道路運送法では既存のバス路線と競合はできないことになっています。あくまでも既存路線型交通の代替、または補助的役割として位置づけられています。

今後、少子高齢化の進展による交通弱者の増加が予想され、ドア・トゥ・ドアのオンデマンド交通も望まれます。当面は、コミュニティバスの市内全地区ルートの本格運行が4月1日から始まるため、この運行内容で実績を見定めていきたいと考えています。



コミュニティバス

解説 オンデマンド交通

利用者が希望する場所から場所までの移動を低額で提供する新しい公共交通サービス。似たような予約があれば乗り合いで対応し、効率的な運行を行う。

太田将範 議員

- 1 旭市発注の公共工事について
- 2 旭市営住宅について
- 3 住宅リフォーム助成制度について
- 4 国民健康保険について

日下昭治 議員

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 契約事務について
- 3 報償費について

中央病院

改革プラン評価委員会 のメンバーは

Q 総合病院国保旭中央病院
改革プラン評価委員会の
メンバー構成と、そこで行われ
た議論に対してどのように考え
ているのか。

A 構成メンバーは、近隣の
状況を見ながら、改革プ
ランの基本となる当病院の経営
形態に関する状況を把握してい
る経営形態等に関する検討委員
会のメンバーから選出しました。
改革プランに示された独立行

医療

政法人化や指定管理者制度につ
いては、全国の自治体病院や病
院事業管理者と情報交換をしな
がら、経営形態の状況など情報
収集を図っていききたいと思っ
ています。

医療観光の導入は

Q 旭市の医療観光導入につ
いて、どのように考えて
いるのか。

A 現在、旭中央病院では、
公立病院として医療を守
ることに専念しており、また、



旭中央病院の新本館および自動精算所と売店

香取海匝地域の中核病院として、
ほかの病院と連携して地域の医
療再生に取り組むこととなって
います。現段階では、積極的に
外国の患者を受け入れることは
考えていませんが、情報収集に
努めていきたいと思っています。

解説 医療観光

居住国とは異なる国や地域か
らの患者に対し医療サービス
(診断や治療など)を提供するこ
と。

滝郷診療所

滝郷診療所の今後は

Q 旭市は医療と福祉の郷を
大きなスローガンに挙げ
ており、滝郷診療所には、高年
齢の人たちなどが通っています。
地域医療を守るためにも、ぜひ
市長の決断をお願いできればと
思います。

A 絶対に滝郷診療所は残し
ておくという気持ちには
変わりはありません。その中で
医師を見つけるということを最
優先に、中央病院から医師を派
遣しているようなこともありま
す。



滝郷診療所

このような状況の中で、滝郷
診療所を担当してくれる医師を
ぜひ議会の皆さん方にも紹介を
いただき、私も全力で院長経験
者に聞きながら探したいと思っ
ています。

道の駅

産業活性化に向けて

Q 道の駅の内容について市
長の構想をお聞きます。

A ぜひ道の駅をこの大産地
である旭市でやってみた
いという思いを語ってきました。
大きな理由は、旭市を全国へ発
信していきたい、そして集客施
設の拠点、また交流の場、雇用

の場にしていききたいと思っ
ています。

事業規模は「農水産物等を中
心とした直売施設及び食事等を
提供する地域食材供給施設の整
備について、将来、国の補助事
業を活用したい。」との事業要
望書を提出するための概算事業
費としてオライはすぬまの1・
5倍程度とする考えであり、ご
理解いただきたいと思います。

産業

B級グルメ、 ゆるキャラへの 取り組みは

Q B級グルメ、ゆるキャラ
に対する支援は、23年度
予算の企画費の中で179万円
計上されていますが、詳しい内
容の説明をお願いします。

A B級グルメについては、
23年度は主要事業である
医療福祉・食・交流の郷づくり
事業の地域資源価値創造事業の
中で、特産品などの研究・開発
する団体への支援として46万2
000円を予定しています。
ゆるキャラについても、特産



おあがんな旭

と思うが、旭市としてのよう
に考えているのか。

A ごみ焼却場や中学生の海
外派遣事業、職員共同採
用試験について継続して実施し
ており、即解散という考えはあ
りませんし、ほかの2市の市長
も同じ考えです。このことは、
東総地区広域市町村圏事務組合
の議会や首長会もあり、議員の
意見も参考にしながら今後検討
していきたいと思っています。

広域ごみ処理

ごみ処理施設の 考えは

Q 旭市としての考え、対応
をどのように考えている
のか、お尋ねします。

A 東総地区広域市町村圏事
務組合では平成21年3月
に、1施設とした場合と2施設
とした場合の経費で比較検討を
行っています。

3市の中間に1施設を建設し
た場合と、銚子市内に1施設、
旭市と匝瑳市の中間に1施設の
計2施設を建設した場合の費用
比較で、建設費は、1施設で1

41億6,000万円、2施設
では163億5,000万円、
1施設のほうが21億9,000
万円、約15%の減となっていま
す。また年間維持管理費は、1
施設で7億1,000万円、2
施設では11億9,600万円、
1施設のほうが4億8,600
万円、約68%の減となっていま
す。そのほかに年間輸送費の比
較では、1施設で6億4,00
0万円、2施設では5億5,0
00万円、1施設のほうが9,
000万円、約14%の増となっ
ています。

今後の考え方ですが、広域で
1施設を整備するほうが、建設
費や維持管理費の経費削減や、
資源ごみを集約化することによ
り、効率的な再資源化の促進が
見込まれることから、今後とも
3市の共同事業として進めてい
きたいと考えています。

環境

補助金の増額は

Q 太陽光パネルを取り付け
るための補助金の増額は
できないか。



クリーンセンター

A 旭市住宅用太陽光発電シ
ステム設置費補助制度は、
住宅用太陽光発電システムを設
置する個人に対し、太陽電池の
最大出力1キロワット当たり2
万5,000円を乗じた額(10万
円を限度)を補助する制度です。
この制度は、平成22年度から3
カ年の期間限定で実施するもの
で23年度は2年目に当たります。
グリーン電力活用推進のため、
さらなる補助金の増額について
は、現在の補助制度で既に設置
した申請者と不公平感が生じる
などの問題も考えられるため、
現在の制度の終了する平成24年
度までの3か年間は現行制度で

推進し、その後、補助額の拡大
や期間の延長も含め、十分に協
議していきたいと考えています。

小・中学校に 太陽光発電を

Q 小・中学校にも太陽光発
電のパネルを取り付ける
ことができないか。

A 学校施設では、第一中学
校、矢指小学校の2校で
現在その施工中です。また、飯
岡中学校改築事業及び学校給食
センター統合改築事業でも設置
を予定しています。

ほかの小・中学校についても、

東総地区広域市 町村圏事務組合

事務組合についての 市の考えは

Q 市町村合併により、設立
の趣旨が違ってきている

環境教育という観点から配慮し、今後、大規模改造等を実施する際に検討を加えていきたいと考えています。

防犯

防犯カメラの設置を

Q 犯罪の抑止力も非常に高い防犯カメラの設置を望むが、いかがか。

A 旭市の刑法犯で一番多いのは、自転車盗と車上狙いという状況です。防犯カメラの設置ですが、設置場所や、ど

こにどのくらい付けたらいいのか、録画データをどう管理するのか、あらゆる角度から費用対効果を検討しなければならいと考えています。

現在のところ設置についてはもう少し勉強させていただきたいと考えています。

消防

火災警報器の設置推進を

Q 火災警報器の設置推進について、建物火災の発生

件数を減らすために、75歳以上の独居老人家庭に無料で設置してもいいと思うが、いかがか。

A 本市では、ひとり暮らしの高齢者に対して、すべて無料とはいきませんが、高齢者日常生活用具給付等事業により火災警報器の助成を行っています。

無料の対象者は、寝たきりの高齢者、ひとり暮らしの高齢者世帯等で、なおかつ生活保護、もしくは前年の所得税が非課税である世帯に給付しています。

救急医療情報キットの調査・研究は

Q 救急時に、より迅速な救命活動ができる救急医療情報キットの、その後の調査・研究は進んだのか。

A 消防本部で実施が1本部、市町村で実施が7市、そのほか地区自治会で実施が4市となっています。また、今後実施する、実施に向けて検討するのが5市町です。

旭市においても、導入の方向に向けて検討を加えていきたいと思っています。

教育

職業体験学習の実施状況は

Q 職業体験学習を旭市ではどのような形でやっているのか。

A

小学校「ゆめ仕事ぴったり体験」において、6年生627名が市内及び近隣の155カ所の事業所に、また中学校職場体験には、2年生627名が261カ所の事業所にご協力をいただいて実施しているところです。

事業所等の種類は、農家や一般商店、コンビニ、スーパー、飲食店、菓子店、ガソリンスタンド、自動車販売・修理工場、さらには福祉・介護施設、病院、警察、消防署、市役所等の公共施設など、多岐にわたっています。

この体験を通して、多くの児童・生徒がより具体的な職業観や勤労観を持ち、ルールやマナーの大切さを理解し、立場をわきまえた良好な人間関係を築くことができつつあります。

今後の地域の教育力を生かし

生涯学習

市民会館の今後は

Q 市民会館の図書館について、利用者は何人か。また、市民会館を今後どうするの

A 図書館の利用者は3万512人。貸し出し数は、平成21年度は10万1,600冊、平成22年度は12月31日現在7万7,312冊です。

市民会館の図書館の利用が東部図書館より多く、図書館としても必要ではないかとの思いで、今、複合施設として何かできないか、検討を加えているところです。



小学生による職業体験



旭市民会館

建設経済常任委員会

3月10日(木)午前10時より、本委員会が開催され、付託された11議案の審査を行いました。

議案第1号平成23年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「農林水産業費の環境調査指導委託料について、その目的は何か。」との質疑では、「この委託料については、市内の小学校を対象に外部講師を依頼し、環境調査を実施するもので、水田等を中心に、どんな生物がいるのか、それが農業にどんな貢献をしているか、子ども達が発見をして、環境の大切さを体験するとともに、その調査結果をアピールしながら、旭市の持っている農業力を消費者の代表の方々などに紹介していきたいと考えている。」との答弁がありました。

また、「商工費のふるさと雇用再生ふるさと産品ショップおあがん旭について、月額の家賃、人件費、光熱費はいくらか。また、売り上げ状況と今後の見込みは。」との質疑があり、「おあがん旭の維持費については、家賃は、月16万8,000円、人件費は、4人を想定して、法定福利費等を含めて、月92万1,000円、光熱水費は、月6万5,000円を見込んでいます。売り上げ状況については、平成22年6月から平成23年2月まで、営業日数240日、購入者数8,213人、売り上げ655万8,129円、1日あたりの平

文教福祉常任委員会

3月11日(金)午前10時より、本委員会が開催され、付託された18議案の審査途中で、東北地方太平洋沖地震が発生したため、当委員会を散会し、3月14日(月)午後2時より、引き続き議案の審査を行いました。



議案第1号平成23年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「教育費の学校いきいきプラン事業について、具体的にどんな活動をしているのか。また、平成23年度は、どんな活動を予定しているのか。」との質疑では、「各学校での取り組み状況については、特色なものとして、親子地引網体験やプロの音楽家の演奏など、地域と学校が一体となった行事を作り出し、本物の良さや魅力を十分に味わい、その取り組みを通して、生きる力を育む教育が着実に進められたと考えています。また、平成23年度の予定としては、今まで取り組んだもののほか、稲作等の勤労生産活動や外部人材の活用など、各学校ともに、児童・生徒一人ひとりが

総務常任委員会

3月14日(月)午前10時30分より、本委員会が開催され、付託された8議案について審査を行いました。

議案第10号平成22年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「総務費の庁舎整備基金積立金について、議案第21号の取り下げにより、国保会計に不足が生じると思うが、このまま積み立てをするのか。」との質疑では、「庁舎整備基金については、このまま積み立てしたいと考えています。不足等の対応については、まず先に、財政調整基金が総額26億814万円ある中で、充てたいと考えています。」との答弁がありました。

議案第17号旭市行政組織条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「行政組織条例の改正において、新たに体育振興課が作られるが、職員が増えていない中で、課を増やす理由は何か。」との質疑では、「体育振興課の設置については、生涯学習課の中に体育振興班があり、現在、その担当の業務が肥大化しており、それを分けるためである。それぞれ、その時代に合った政策を進めたいと考えています。」との答弁がありました。

議案第34号訴訟上の和解及び損害賠償の額を定めることについての審査では、「訴訟上の和解ということで、行政処分取消訴訟に至るまでの

均は、2万7,326円と大変苦戦している状況である。このような状況から、いかに旭をPRするかということで、イベントへの出店や刑部岬展望館への出店ということで、出張販売等を実施したところ、その効果があるということが分かったので、来年度、少しでもPRにつながればと計画をしている。」との答弁がありました。

議案第5号平成23年度旭市下水道事業特別会計予算の議決についての審査では、「下水道事業について、接続率が低い、すべての加入者が接続できるような利用体系は考えているのか。」との質疑では、「接続の促進については、指定工事店や市の職員が戸別に訪問するなどして、普及に努めていきたいと考えている。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、議案第5号については賛成多数で、その他の議案については全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、旭中央病院新本館などを視察しました。



いきいきと輝くために、特色ある教育活動を積極的に展開したいと考えている。」との答弁がありました。

また、「教育費の学校給食センター統合改築事業について、オール電化太陽光発電ということであるが、どのくらいの光熱費が軽減できるのか。」との質疑では、「太陽光発電については、平成24年度に計画をしているが、発電能力については、10キロワットを予定しており、年間の電気節約代は、17万円ほどを見込んでいます。また、夜間電力等を利用して、少しでも事業費を抑えられるように工夫をしていきたいと考えています。」との答弁がありました。

議案第2号平成23年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決についての審査では、「後期高齢者支援金は、国民健康保険事業会計にどんな影響を与えているのか。また、この制度から抜けることはできるか。」との質疑では、「後期高齢者支援金については、平成20年度より老人保健制度に代わって発足された制度で、老人保健制度のときは、旭市でかかった医療費の実績に合わせて拠出金が計算されていたが、後期高齢者医療制度の場合、全国平均となり、従来より負担増になっている。また、後期高齢者医療制度は、国の制度であるので、従わざるを得ないところである。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし、審査の結果、議案第1号、議案第2号、議案第10号、議案第26号については賛成多数で、その他の議案については全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

経緯について、具体的な説明を。」との質疑では、「平成16年12月27日の許可申請に対して、旧干潟町では翌年1月14日に廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、その処理地の周りの地権者の同意を許可要件と考え、その同意がそろったことにより、一般廃棄物処理業の許可を環境シンフォニックに与えたが、廃掃法の様々な許可要件を失念しており、結果、許可の取り消しを半年後に通知したという経緯である。」との答弁がありました。

その他、質疑を尽くし、審査の結果、議案第1号、議案第17号、議案第34号は賛成多数で、議案第10号については可否同数であったことから委員長裁決において可決とし、そのほかの議案については全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。





スターライトファンタジー

議会のうごき

平成22年11月26日以降
の議会のうごき

11月

- 千葉県立旭農業高等学校創立
百周年記念式典
- 第55回あさひ舞踊会

12月

- 歳末チャリティーゲートボー
ル親善大会
 - 平成22年長熊釣友会総会
 - 旭市立矢指小学校校舎改築工
事起工式
 - 第10回スターライト・ファン
タジー
 - 歳末警戒団員に対する激励
- ## 1月
- 平成23年旭市消防出初式
 - 平成23年旭市成人式
 - 東総地区広域市町村圏事務組
合議会行政視察研修
 - 千葉県市議会議長会研修会
 - 千葉県北総地区市議会正副議
長会事務局長会議
 - 第14回飯岡あんこう鍋祭り試
食会



成人式

2月

- ゆめ半島千葉国体旭市実行委
員会第6回常任委員会
- 旭市産業経済交流会
- 2011年度社団法人旭青年
会議所創立45周年記念式典
- 千葉県北総地区市議会正副議
長会臨時総会
- 第6回旭市環境衛生大会
- 千葉県東部郵便局長会平成23
年度通常総会
- 第22回旭市飯岡しおさいマラ
ソン大会開会式
- ゆめ半島千葉国体旭市実行委
員会第5回総会
- 市議会議員共済会第101回
代議員会
- 平成23年袋公園美化推進協議
会総会



旭市飯岡しおさいマラソン

議を傍聴しませんか

第2回定例会は6月23日(木)
から行われます。

議会開会中は、どなたでも
議を傍聴することができます。
希望される方は、市役所
3階までおいください。

なお、市役所本庁と各支所
ロビー、海上・干潟公民館、
飯岡福祉センター、総合体育
館のテレビで、本会議の模様
を放映しています。

また、市ホームページでは
議会ライブ中継をしておいま
す。ご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304
FAX 62・5384

編集後記

東日本大震災の犠牲になら
れた方々のご冥福をお祈り申
し上げます。

また、被災された皆様方
には心よりお見舞いを申し上げ
ます。

大震災は、三月定例会中に
発生しました。一日も早い復
旧と、今後の復興のため、議
員一同、市民の皆様方と力を
合わせて努めてまいりますの
で、どうぞ宜しく願います。

(副委員長・宮澤 芳雄)



議長・副議長を囲んでの編集委員

旭市議会だより編集委員会

- 委員長 伊藤 房代
- 副委員長 宮澤 芳雄
- 委員 島田 和雄
- 委員 大塚 祐司